

委員会研修報告

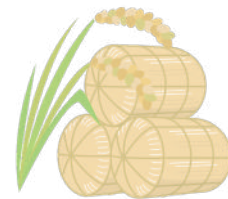
経済土木委員会

視察地 北つくば農業協同組合（10月12日）

テーマ 米価下落の状況とその対策について

令和3年産米の価格は、コロナ禍による外出自粛、営業自粛による米需要の低下、豊作基調の予想、令和2年産米の在庫状況によって、昨年度の価格に比べて大きく下落しています。そのような中、JA北つくばで取り扱う米の9割が買取米であり、全農概算金払いと異なり、1回で農家へ支払われているため、全農が示す金額よりも高い金額を提示できているとのことです。

米価下落への対応としては、飼料用米などの非主食用米への転換や、新銘柄「にじのきらめき」への転換を推進しています。そして、非主食用米へ転換することによって、主食用米の供給量を調整し、所得の安定化を目指しています。



北つくば農業協同組合にて

議会ICT化推進特別委員会

視察地 結城市議会（11月4日）

取手市議会（11月18日）

テーマ 議会ICT化の取組について



結城市議会議場にて



取手市議会議場にて

結城市議会では、令和元年にタブレット導入の協議を開始、令和2年の新庁舎開庁に併せ、議会と執行部でタブレット端末を導入しました。導入当初は紙資料を併用していましたが、令和3年度からは予算書、決算書を除きペーパーレス化に移行しています。

取手市議会では、令和2年にタブレットを導入しました。また、デモテック戦略特別委員会を設置し、ICTを活用した議会運営や活用、議員活動のさらなる推進を図るほか、オンラインでの本会議開催に向け、地方自治法改正を求める意見書を国へ提出するなど、先進的な取組を実施していました。

タブレットを活用した研修会を行いました！

本市議会では、より効率的で迅速な議会運営を行うため、令和3年8月に議会ICT化推進特別委員会を設置しています。議会タブレットの導入に向けて、10月20日に全議員を対象とした文書共有ソフトの研修会を実施しました。

研修はWeb会議システムによるリモートで行い、議員はそれぞれタブレットの操作方法や議会への活用方法について学習しました。



▲実際にタブレットを操作し学習しました

タブレット導入によるメリット

タブレットを導入することで、災害時等の緊急連絡、ペーパーレス化による省資源化、オンライン会議への活用が期待されます。

また、文書共有ソフトを使用することにより、議案等をいつでも確認することができ、議会活動や運営の効率化につながります。

オンライン会議



ペーパーレス化

